

第2回次世代育成協議会意見概要

「 」印は第1回及び第2回部会の意見 色付き枠が第2回協議会での意見

	現状への対応策	予防策	
普及啓発の充実・強化	<p>多くの行政等が活動していることを改めて知ったが、相談先を知られていないのではないか？</p> <p>若者が触れる媒体を活用した広報(雑誌・インターネット・携帯サイト、テレビ等) 雇用対策に協力した企業を表彰</p> <p>若者の現状を、危機感を持って周知すべき</p> <p>地域での様々な活動が知られていない気がする</p> <p>しんじゅく若者サポートステーションの取組みは素晴らしいが、場所がわかりにくい</p>	<p>若者支援団体への中学生の職場体験</p>	普及啓発の充実・強化
相談体制等の充実・強化	<p>相談業務など、行政サービスの周知徹底</p> <p>居場所を作った後の周知も重要</p> <p>若者の居場所づくり(若者館)</p> <p>年齢別の対応・段階別の対応 専門職の配置(臨床心理士) メールや夜間の相談対応</p> <p>既存施設を活用した場作り</p> <p>同じ悩みを共有・共感できる場作り</p>	<p>小学生・児童保護者が日常的なカウンセリングを受け相談できる環境整備</p>	相談体制等の充実・強化
早期発見・早期対応	<p>子ども・若者総合相談窓口の設置</p>	<p>コミュニケーション能力の向上 親和群の見極め スクールソーシャルワーカーの小中学校全校配置 家庭環境・家庭教育の重要性の見直し</p> <p>例えば幼稚園や保育園から小学校へのつなぎ</p> <p>幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携は年3回実施 不登校等児童・生徒に対して地道に対応していく</p>	早期発見・早期対応
関係機関連携の充実・強化	<p>各省庁・各自治体間の連携 子ども・若者支援地域協議会の設置</p> <p>区が関係団体へ働きかけ区内の若者が受益できる支援メニューネットワークを作る</p> <p>目的を持った若者が次のステップに行ける仕組みづくり</p> <p>公で身近な清掃活動などを用意して、リーダー役などステップアップしていく仕組みづくり</p>		関係機関連携の充実・強化
地域における取組み	<p>話しづらいことも恥ずかしくがらずに話せる地域づくり 自立の道を若者が気づくことを待てる地域づくり 若者が社会に貢献できるイメージが持てる地域 人と人がつながりを持てるコミュニティー作り 若者への見守りや声かけなど地道な対応のできる地域 仕事以外に地域とつながる機会を、高校・大学の頃から提供できる地域</p>	<p>若者の地域活動への参入促進</p> <p>義務教育が終わると地域での関係が希薄になる。町会活動や身近な活動で支えあいたい</p>	地域における取組み